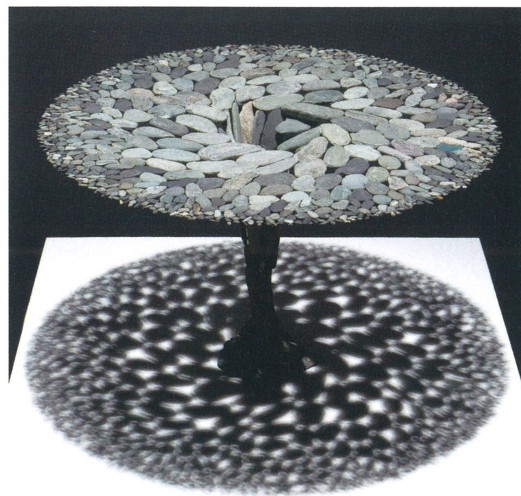
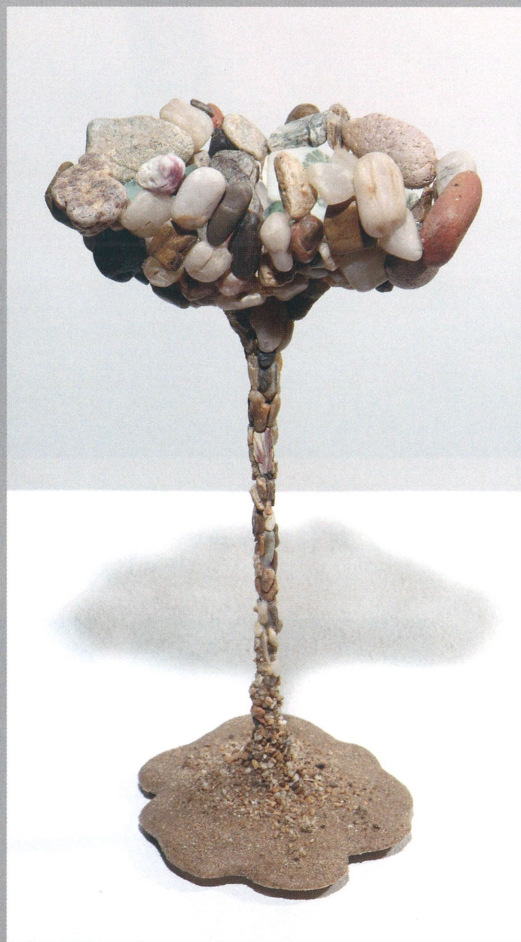




10

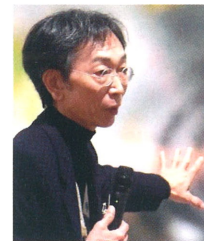


9



11

精神が、自然の中に入り込む表現を、
追い求めている。
今、私の興味は、枯山水と、
グラデーション（移ろい）に向かっている。



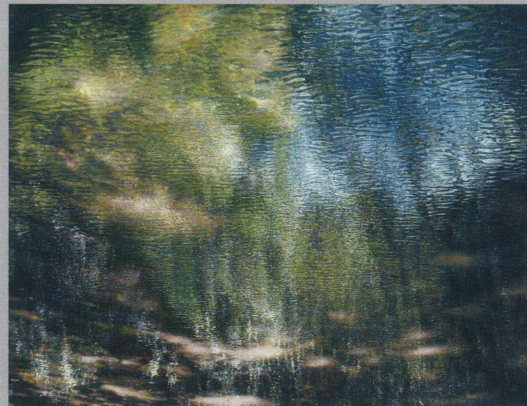
山本修司
Shuji Yamamoto

1959年松山市出身。愛媛県立松山南高等学校砥部分校デザイン科を卒業後、大阪芸術大学にて泉茂氏のもとで絵画を学ぶ。大学卒業後、関西にて就職ののち、1989年にディスプレイデザイン制作のワークスタジオを設立。在学中より関西を中心に全国での出展の他、韓国の芸術祭やスペインの展覧会に参加するなど幅広く活動している。大阪在住中も、愛媛県美術館企画の展覧会「ミルコカラハジマル〜自然との対話」(2010年)に選出されるなど、県内でも活動。2019年、松山に帰郷し、愛媛を拠点とした活動が始まる。

【主な出展歴】

ギャラリー白(大阪)個展多数開催、架空通信百花繚乱展(兵庫・兵庫県立美術館ギャラリー棟)参加、きのうとあすの対話(兵庫・原田の森ギャラリー)参加、岩美現代美術展(鳥取・Studio652)参加、絵画展なのか?(埼玉・川口市立アートギャラリーアトリア企画)参加、ミューゼ里山房(愛媛)企画展多数参加、等。

9/《産霊(musubi)》2022年
10/《夢窓》2016年
11/《一片の器2022》2022年
12/《空と風と星と》2016年



12

Up And coming展Ⅲ

輝け、えひめの挑戦者たち

関連イベント: **出展作家による
ギャラリートーク**

2023年5月21日(日)午後1:30~2:30
河野甲、零駒無藏、山本修司

事前申込不要。入場料のみでご参加いただけます。

次回展覧会: **池川直 彫刻展**

2023年8月27日(日)~11月5日(日)



アクセス

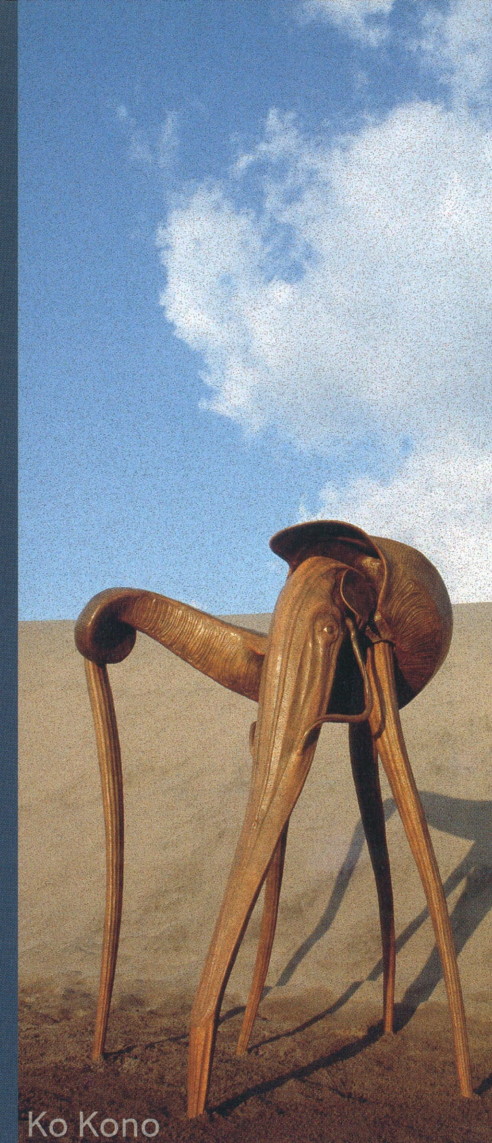
◆JR松山駅から予讃線乗り普通電車にてJR堀江駅下車 徒歩約15分 ◆松山市駅から伊予鉄バス北条又は堀江行き「内宮」又は「花見橋」バス停下車 徒歩約15分 ◆松山空港から約11km ◆松山I.C.から約16km ◆今治I.C.から約35km
※新型コロナウイルス感染予防のため、掲載内容に変更が生じる場合があります。最新情報は当館HPをご確認ください。

MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL089-978-6838 FAX089-978-0323
<https://www.miuraz.co.jp/miurart>
E-mail:miurart@miuraz.co.jp

駐車場: 30台と土・日・祝日は臨時駐車場(三浦工業
福角駐車場約250台)をご利用いただけます。



Ko Kono

Up And Coming展Ⅲ

輝け、えひめの挑戦者たち

Up And Coming 展は

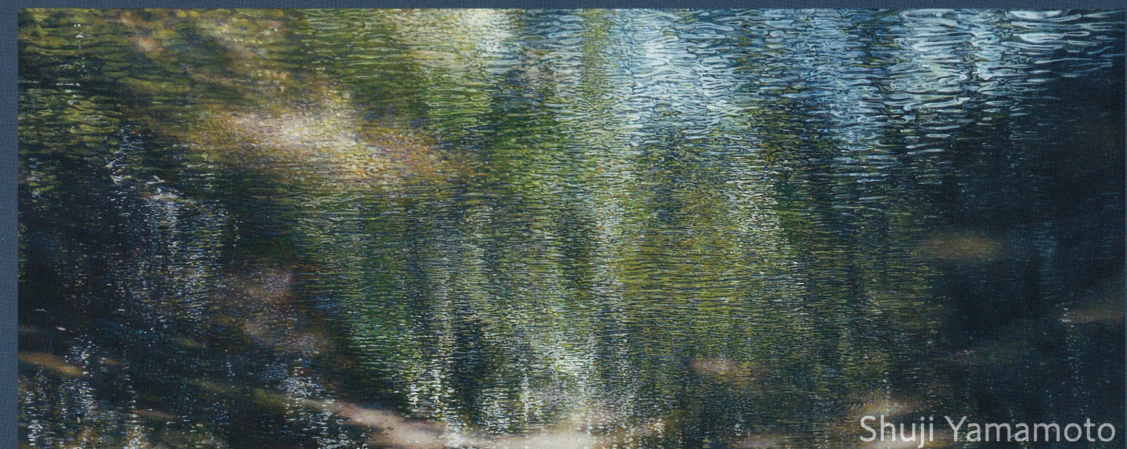
ARTに果敢に挑む作家たちの未来への飛躍と

郷土の芸術の発展を目指し

愛媛ゆかりの作家をご紹介します



Muzo Zerokoma



Shuji Yamamoto

山本修司
零駒無藏
河野甲

2023年

5月21日(日)~8月6日(日)

休館日: 月・火曜日(祝日は開館)

開館時間: 午前9:30~午後5:00(入館は午後4:45まで)

入場料: 一般600円(前売り400円)、高大生300円、中学生以下無料

※65歳以上の方はその証明書等の提示で前売り料金となります。

※障がい者の方はその証明書等の提示でご本人と同伴者1名様まで前売り料金となります。

主催: **ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)**

協賛: 株式会社ミウラ

協力: ギャラリーかわにし、ギャラリー リブ・アート、久万青銅の回廊、ミューゼ里山房

後援: 愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

作品 / 左上:河野甲《麒麟》1988年 撮影:堀江雄一 / 右上:零駒無藏《バビロ》(部分) 2022年 / 下:山本修司《空と風と星と》(部分) 2016年

MIURART VILLAGE
MIURART

新型コロナウイルス感染予防のため、掲載内容に変更が生じる場合があります。
最新情報は当館HPをご確認ください。

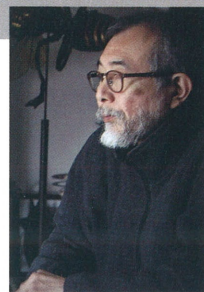
Up And Coming展Ⅲ

輝け、えひめの挑戦者たち



1

革という生命の副産物を使って、
再び生命の形を作る。
それらをポエジーの空間に住まわせることが、
願わくばの試みである。



河野 甲

Ko Kono

1956年宇和島市出身。愛媛県立宇和島南高等学校卒業後、京都嵯峨美術短期大学洋画科にて学ぶ。卒業後、皮革造形作家 石丸雅通氏に師事。1984年、皮革造形家として独立し京都に工房を持つ。東京・大阪・仙台・奈良・京都・ニューヨークなど、各地で個展を多数開催。2019年、京都府木津川市に自作のかたつむりフィギュア等を展示する「かたつむりミュージアムラセン館」を開館。「生物形態のリアリティーとポエジーの融合」をテーマとして制作を続けている。

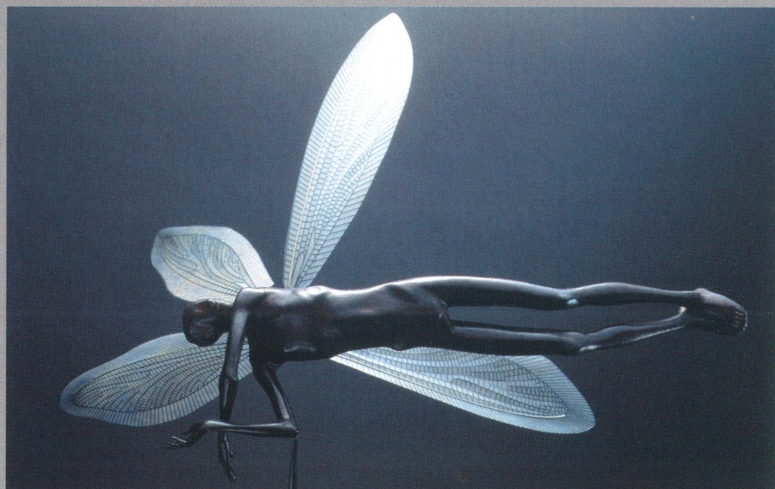
【主な出展歴】

松屋銀座アートサロン(東京)、うめだ阪急美術画廊(大阪)、ヒロ画廊(和歌山)、ギャラリー夢雲(奈良)、ギャラリーリブ・アート(愛媛)、松山三越(愛媛)、ギャラリー杜間道(宮城)、リウボウ美術サロン(沖縄)、東京アートフェア(東京)、アート&アンティークショー(アメリカ/サンフランシスコ)、等。

1/《麒麟》1988年
2/《麒麟》1993年
3/《オオスズメバチノカムイ》2012年
4/《大気への託身》2002年
撮影:1堀江雄一/2松田幹夫/3藤谷伸次/4中谷昌司



3



4



5

野外彫刻・林業から得た 研ぎ澄まされた五感で素材に向き合い 愛する者・物を創造し続ける。



零駒無藏

Muzo Zerokoma

1961年東京都出身。東京都立芸術高等学校美術科を卒業後、渡仏しソルボンヌ大学及びアカデミーグランドテールに学ぶ。1988年、香川にて彫刻家 空充秋氏に師事。1990年、第4回現代日本具象彫刻展で受賞し、以降各種公募展などで連続入選。1995年、愛媛県の建設会社へ彫刻家として入社し、モニュメントなどを制作。2006年退社後、久万高原町にて林業を始め、翌年工房設立。現在、愛媛を拠点に個展を開催するほか、芸術祭を主催するなど、独自の制作を続けている。

【受賞・シンポジウム参加】

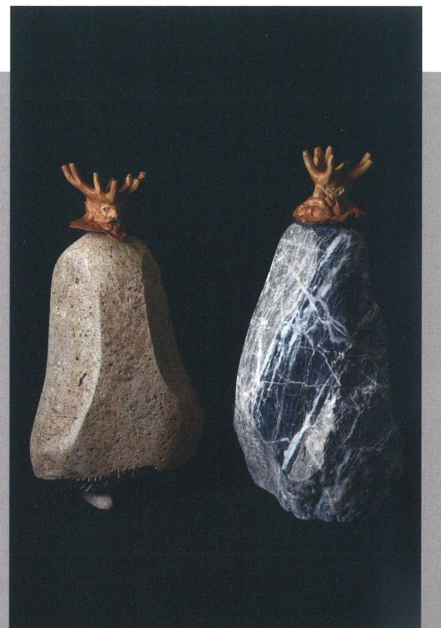
第4回・第5回現代日本具象彫刻展 優秀賞受賞(千葉・千葉県立美術館)、OCR200の街をかざる彫刻コンクール 佳作賞受賞(大阪)、第2回かざおか石彫シンポジウム 参加、第4回 招待参加(岡山)、第8回美濃加茂彫刻シンポジウム 参加(岐阜)

【主な出展歴】

久万青銅之回廊(愛媛)、ギャラリーかわにし(愛媛)、ギャラリーリブ・アート(愛媛)、土日画廊(東京)、等。



6



8



7

5/《みこちとて》(部分) 2021年
6/《Princess of sparrow》2022年
7/《ババと》(部分) 2022年
8/《ふきげんな神々》2021年

2